

〜〜7月4日〜7月25日 ディベート講座（全4回）〜〜

文書作成・撮影：庄和地区市民大学運営委員

文教大学人間学部の青山准教授にご指導いただいているディベート講座です。

全4回のディベート講座で、3回目でテーマを決定し、4回目で試合を行ないました。

第1試合のテーマ「飲食店のタッチパネル注文を推進すべきか、否か」

肯定側は2班、

否定側は4班

第2試合のテーマ「外国人労働者の受け入れを拡大すべきか、否か」

肯定側は1班、

否定側は3班



本番会場の様子



作戦タイム

班ごとに短時間でテーマの事を調べ話し合い、立論し、反対尋問、最終弁論へと仕上げていきます。

暮らしの中の身近なテーマのようですが、ディベートでは自身の考えと違って肯定したり否定したりします。

試合は肯定側も否定側も観客に説得力のあるポイントを提示して、聴きごたえのある討論となりました。

新パターンの弁論もありましたがおおいに盛り上がりました。

今年度も、卒業生の諸先輩が多数おいでいただき聞き入っておられました。学生とともにディベートのジャッジに参加していただき、感想も頂きました。ありがとうございました。



力のこもった弁論

結果として、第1試合は肯定側50票対否定側25票で肯定側の勝利、第2試合は肯定側44票対否定側25票で肯定側の勝利となりました。



2回目の授業の話し合いの様子